

# 大地からやってくる

みな異なる果実を食べる  
異なる土地では異なる果実がとれるからな

それぞれに異なる土地だ

大地が正しい道を教えてくれるすべて

「世界に違いをもたらしたい」という願いを胸に、保苺実氏（Ph. D. ANU）は、その短い生涯の中で、数多くの人々に計り知れない感動をもたらしました。

1971年7月8日、保苺は日本北部の新潟の海岸沿いの小さな町に生まれました。小学校までは内気で照れ屋な子供でしたが、やがて勉強の魅力を感じるようになり、学校に行くのが楽しくなるにつれ、次第に性格も明るくオープンになりました。またその誠実で頼りがいのある人柄に、級友や教員も惹かれていき、中学、高校時代には生徒会長として活躍するに至ります。

一橋大学に進学後、経済学、人類学及び歴史学を専攻、学士号に続き修士号も同大で取得しました。彼が最も興味を持ったのが歴史で、次第にオーストラリア先住民のアボリジニ、特に彼らの歴史と文化に強い興味を持つようになります。一橋大学でアボリジニ史を学ぶにつれ、彼はいつの日かこのオーストラリア先住民達と共に暮らしたいと願うようになりました。そして、この夢を実現するために、彼はロータリー国際親善奨学金を含む複数の著名な奨学金を取りオーストラリアに向かったのです。オーストラリアでは、ニューサウスウェールズ大学歴史学部の博士課程で学び、またフィールドワークの一環として、ノーザン・テリトリーのグリーンジ・カントリーにあるダグラグ村でグリーンジの人々と一緒に生活しました。